

令和5年度対話の広場(横浜会場)
「みらいをつくる協働～協働型社会の実現～」
いただいたご意見等への対応状況等

【対応区分】

- A: “対話の広場”をきっかけに、新規の計画・事業を検討する(対応する方向である)
 B: “対話の広場”をきっかけに、既存の計画・事業の見直し等を行う(対応する方向である)
 C: “対話の広場”開催時点にて、既に実施している(既に対応している)
 D: 特に対応を予定していない。

参加者No.	関係所属名	参加者からの主な意見等	対応区分	対応状況(R6.1.31時点)
1	国際文化観光局文化課	(音楽を通したより豊かな生活) ・我々は、音楽を通してより豊かな生活を届けるために活動している。困りごとの解決策ではなく、より豊かな生活、心豊かな神奈川県を創るという取組にも理解いただいていると十分承知しているが、改めて知事の意見を伺いたい。	C	「神奈川県文化芸術振興条例」において、条例の目的を「文化芸術が人間に生きる喜びを与え、人間相互の連帯感を生み出し、及び共に生きる社会の基盤を形成するものであり～(中略)～真にゆとりと潤いの実感できる心豊かな県民生活の実現及び個性豊かで活力に満ちた地域社会の発展に寄与する」としており、音楽を含む文化芸術が心豊かな県民生活の実現等に寄与するという認識を明確にしています。
4	政策局NPO協働推進課	(社会人のボランティア参加) ・こども食堂のボランティアをやった時は、社会人の参加があまりなかった。社会人になると、ボランティア活動続けていくのは難しくなると思った。	D	社会人は仕事や子育て等により、どうしても時間の余裕を持つことができず、継続したボランティア活動が難しい状況であると考えられます。そのため、比較的ボランティアへの関心が高いとされる学生や、時間的余裕があると思われる定年退職された方々がボランティア活動の中心になるかと思われませんが、幅広い年齢層のボランティア参加が望まれるというご意見は、今後の参考とさせていただきます。
6	環境農政局農業振興課	神奈川でも有機農業をしている農家はいらっしゃると思うし、無添加の食品を販売することに力をいれてる業者はいると思うんですね。そういうところにスポットを当てて支援してほしい。また、食の安全について発信してほしい。	C	有機農業の生産拡大に向けて、就農相談や研修先の紹介とともに、就農前後の資金面での支援や栽培技術の指導を行っています。また、有機農産物の販路の拡大に向けては、食育に関するイベントや農産物のマッチング商談会などに、有機農業者の参加を働きかけています。食の安全については、農業において、農業者の自主管理の取組として、県では、GAP(Good Agricultural Practices:農業生産工程管理)の実践を支援しています。
7	福祉子どもみらい局障害福祉課	(サポートマークの普及) 私はヘルプマークを付けて外に出たが、知られていないのか、席を譲られたり声を掛けられることがなかった。そこで、サポートマークという、ヘルプマークの反対である「助けるよ」という趣旨のマークを作った。作った際には、内閣府の障害者ページに掲載されている団体さんの許可を取った。東京都ではヘルプマークを立ち上げた。神奈川県でもぜひ推進してほしい。	A	障がい者に関するマークを紹介するホームページ内に、サポートマークを新たに追加した。また、令和5年12月に県庁にて開催した障害者週間のイベントにおいてリーフレットを配布し、周知に努めた。

令和5年度対話の広場(横浜会場)
「みらいをつくる協働～協働型社会の実現～」
いただいたご意見等への対応状況等

【対応区分】

- A: “対話の広場”をきっかけに、新規の計画・事業を検討する(対応する方向である)
 B: “対話の広場”をきっかけに、既存の計画・事業の見直し等を行う(対応する方向である)
 C: “対話の広場”開催時点にて、既に実施している(既に対応している)
 D: 特に対応を予定していない。

参加者No.	関係所属名	参加者からの主な意見等	対応区分	対応状況(R6.1.31時点)
8	政策局 NPO協働 推進課	自分自身は今、高校1年生なのですが、中学3年生の時から地域のボランティアに興味があって調べてみたりとかしていたのですが、自分の調べ方が悪いのか、なんか自分がじっくり来るボランティアがあまり出てこなくて。 やっぱりインターネット時代ではあるんですが、インターネットで調べても検索に引っかからなかったりすることもあると思うので、小学校とか学校とかで手紙が配られたらこれ何だろうって一旦見ると思うんですよ。なので、そういう時に時代には逆らってしまうんですが、手紙とかでそういうボランティアがありますよっていうのを配布したら、興味がある人とかどんどん集まるんじゃないかなと思いました。	C	県では、ボランティア活動を探すにあたっての情報提供を行っておりますので、ボランティア活動に関心のある方にぜひご活用いただきたいと思います。 ○ボランティア活動相談窓口 ・かながわ県民センター9階に設置しています。 ・窓口では、ボランティアをしたい方への情報提供等を行っております。窓口での対面相談のほか、電話・メール・オンライン相談も受け付けています。 ○掲示板 ・かながわ県民センター9階ボランティアサロン及び情報コーナーに設置しています。 ・情報は活動分野ごとに分かれており、ボランティア活動の情報発信・収集を行うことができます。 ○地域の市民活動支援センターの紹介 ・県ホームページでは、各地域の市民活動支援センターの一覧を掲載しています。 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/md5/cnt/city_town_npo_list.html ・市民活動支援センターでは、各地域で活動する市民団体の情報提供等を行っておりますので、お近くの支援センターへご相談ください。
12	環境農政局 脱炭素戦略 本部室	(総合計画とEVバスの導入) EVバスが平塚市と上大岡駅に導入され、二酸化炭素を排出しないことが明らかになった。神奈川県職員の職員や県知事としては、これからEVバスの導入促進についてどのように考えているか。	C	県では、人流・物流のゼロカーボン化を促進するため、EVバスをはじめ、CO2削減効果が大きい事業用EVの導入に対して補助を行っております。